



2013 年 G8 首脳国会議および G8 前イベントに向けた  
セーブ・ザ・チルドレンの政策提言



## 2013 年 G8 首脳国会議および G8 前イベントに向けたセーブ・ザ・チルドレンの提言

世界中のすべての人々が、十分な食料と栄養を確保できるようになることは、私たちの世代にとっての喫緊の課題です。G8 は、他の国々や機関とのパートナーシップによる投資の拡大と、食料と栄養システムの主要な側面の透明性、アカウンタビリティ、ガバナンスの改善を通して、食料と栄養の安全保障に向けた世界的な取り組みへのリーダーシップを果たすことが求められます。セーブ・ザ・チルドレンは、今年の G8 の中心的議題に開発を位置づけ、飢餓と栄養に関するイベントを開催する英国政府の意向を歓迎します。

飢餓と栄養不良のない世界に向けて大きな進展を遂げるために、セーブ・ザ・チルドレンは G8 首脳に対して以下を要望します：

### **食料安全保障と栄養**

- 「栄養改善拡充イニシアティブ」(Scaling Up Nutrition: SUN)に関する高い栄養不良率を抱える途上国政府の国家予算・計画に対して、G8 首脳国およびドナー国が年間 10 億ドルをコミットすることを推進する。また、2012 年 5 月の世界保健総会で採択された発育阻害削減のための世界目標に貢献するため、今後 3 年間の発育阻害の削減目標を宣言する。
- SUN に未だに参加していない紛争脆弱国を含む高い栄養不良率を抱える国の同イニシアティブへの参加と、2013 年末までの発育阻害と消耗症の国家目標の宣言を推進する。
- 既存のコミットメントを達成し、小規模生産者(特に女性と若者)のエンパワーメント、栄養改善、ジェンダー平等、農業生態学的に持続可能な活動の促進に成果目標を置く食料と栄養の安全保障への投資向上に取り組む。

### **透明性とアカウンタビリティ**

- 栄養改善支援のモニタリング・メカニズムを特定する。
- G8 首脳宣言およびアカウンタビリティ報告書に栄養に関する個別セクションを設け、食料と栄養を中心的に位置付ける。
- 「食料安全保障及び栄養のためのニュー・アライアンス」に透明性とアカウンタビリティ確保のためのメカニズムを設置し、栄養不良削減のための世界的および国別目標を設定する。また、「ニュー・アライアンス」のもと進められる投資が農業と栄養への公的セクター投資を代替するのではなく、補完することを確認する。

### **論理的根拠**

栄養不良は、毎年 230 万人の子どもの死亡要因となっており、一国の経済・社会開発に大きな影響を与えます<sup>1</sup>。栄養不良の子どもは、そうでない子どもと比較して将来得られる収入が最大 20%も低くなり、経済成長に最

---

<sup>1</sup> UNICEF Levels and Trends in Child Mortality (2012) より計算。栄養不良は子どもの死亡の 3 分の 1 の要因となる。  
[www.unicef.org.uk/Documents/Publications/UNICEF\\_2012\\_IGME\\_child\\_mortality\\_report.pdf](http://www.unicef.org.uk/Documents/Publications/UNICEF_2012_IGME_child_mortality_report.pdf)

大 3%にも及ぶ損失を与えるとは推定されています<sup>2</sup>。現在の子どもたちの栄養不良は、この子どもたちが働く年齢となる 2030 年の国際的な収支に 1,250 億ドルもの損失をもたらします<sup>3</sup>。慢性的な栄養不良の主要な指標となる発育阻害は、年齢に対して身長が低く、子どもの身体的・認知的な発達に生涯に渡る影響を及ぼします。

食料安全保障の重要な柱の一つとして、農業投資を栄養改善につなげることが不可欠です。農業支援が栄養改善を考慮に入れないと、投資に対する最大の利益を得る機会を逃すばかりでなく、その支援は実際に栄養に悪影響をもたらすこともあり得ます<sup>4</sup>。

2016 年までに 2,500 万人の子どもたちを発育阻害から守るという暫定的な目標を置くことで、G8 は 2012 年 5 月の国連世界保健総会で採択された、2025 年までに発育阻害の子どもを 40%、あるいは 7,000 万人削減するという目標を軌道に乗せることができます。

2008 年のランセット誌に掲載された 13 の直接的な栄養支援パッケージの拡大は、子どもの死亡の 4 分の 1 を防ぎ、3 分の 1 の発育阻害を削減することが可能です<sup>5</sup>。この低価格で基礎的な直接的な栄養支援パッケージは、開発支援策の中でも最も費用対効果が高いことが証明されており、子どもたちの命を救い、子どもたちおよび国の将来の可能性に投資するものです。支援パッケージには、母乳育児支援、子どもたちへの適切なビタミン・栄養素の投与、病気を予防する衛生向上活動などが含まれます。

SUN への参加国は、ドナー国その他ステークホルダーの後押しにより、ランセットの支援パッケージを含む栄養改善計画を策定しています。今後重要なことは、策定された計画を実行できるよう、ドナー国が資源と政治的リーダーシップをもって支援を行うことです。世界銀行の推定によると、栄養不良の 90%を抱える 36 カ国の対象人口に支援を届けるには、年間約 100 億ドルが必要とされています。高い栄養不良率を抱える国々の国家予算・計画に対し、G8 およびドナー国が年間最低 10 億ドルを負担することが適切です<sup>6</sup>。協力とパートナーシップを促進する資金メカニズムを特定することで、双方のコミットメントの進捗をモニタリングし、栄養への拠出に直接的な栄養支援が含まれるよう確認することができます。

G8 前に実施される飢餓と栄養イベントでは、SUN の国家計画の実施に必要な資源のコミットメントが行われ、食料と栄養の安全保障の取り組みが適切に統合される必要があります。さらに重要なのは、高い栄養不良率

---

<sup>2</sup> S.Horton (1999) 'Opportunities for investments in low income Asia', *Asian Development Review*, vol.17, p.246-73; World Bank (2010) *Scaling Up Nutrition: What will it cost?*

<sup>3</sup> Enough Food for Everyone, IF - campaign report (2013).

[http://enoughfoodif.org/sites/default/files/IF\\_policy\\_report.PDF](http://enoughfoodif.org/sites/default/files/IF_policy_report.PDF)

<sup>4</sup> Anna Herforth, Synthesis of Guiding Principles on Agriculture Programming for Nutrition (FAO), 12 Sept 2012.

[www.fao.org/fileadmin/user\\_upload/wa\\_workshop/docs/Synthesis\\_of\\_Ag-Nutr\\_Guidance\\_FAO\\_IssuePaper\\_Draft.pdf](http://www.fao.org/fileadmin/user_upload/wa_workshop/docs/Synthesis_of_Ag-Nutr_Guidance_FAO_IssuePaper_Draft.pdf)

<sup>5</sup> Lancet Journal: What works? Interventions for maternal and child undernutrition and survival. Vol.371, Issue 9610, Pgs 417-440, 2 Feb 2008. [www.thelancet.com/journals/lancet/article/PIIS0140-6736\(07\)61693-6/abstract](http://www.thelancet.com/journals/lancet/article/PIIS0140-6736(07)61693-6/abstract)

<sup>6</sup> ACF, Aid for Nutrition: Using innovative financing to end undernutrition.

[www.actionagainsthunger.org.uk/fileadmin/contribution/pdf/ACF\\_Aid%20for%20Nutrition\\_Using%20Innovative%20Financing%20to%20End%20Undernutrition.pdf](http://www.actionagainsthunger.org.uk/fileadmin/contribution/pdf/ACF_Aid%20for%20Nutrition_Using%20Innovative%20Financing%20to%20End%20Undernutrition.pdf)

を抱え、子どもの死亡数の半分と妊産婦の死亡の 3 分の 1 を占める紛争脆弱国が、世界的な栄養改善の取り組みから取り残されることなく、G8 によって SUN への参加と国家計画の策定が促進されることです。

食料と栄養の安全保障に取り組むには、マルチセクターのアプローチが必要です。小規模農業は何百万人もの人々を貧困から救い出し、栄養不良を削減できる重要なセクターです。小規模農業への公的支援は、農村部において成長と貧困削減の強い促進剤となることが歴史的にも示されています。農業における国内総生産の成長は、低所得国において他セクターの成長と比較して貧困削減に 5 倍の効果があり、サハラ以南アフリカでは 11 倍の効果があるとされています<sup>7</sup>。近年、最貧国において農業への公的投資の不足が食料の安全保障と国際的な食料価格の高騰、農村部の貧困、そして気候変動への脆弱性を悪化させてきました。

G8 が食料と栄養の安全保障を統合し、G8 首脳宣言に G8 前の飢餓と栄養イベントの成果を反映することで、これら課題への継続的な取り組みを推進することが強く求められます。既存のコミットメントの達成に加え、発育阻害削減に貢献する農業投資の拡大への新たなコミットメントを行うことで、これら課題への取り組みに転換をもたらすために必要なモメンタムを作り出すことができます。そのためには、農業投資が小規模生産者のエンパワーメント、農業における若者と女性の不平等への取り組み、栄養改善に対する成果の主流化、農業生態学的な活動促進、包摂的成長を優先し、同時に農民の権利を守ることが不可欠です。

「ニュー・アライアンス食料安全保障ネットワーク」が、5,000 万人の人々を貧困から脱却させる目標と、食料安全保障と農業プログラムに栄養を主流化するというコミットメントを実現するためには、改革が必要です。小規模農家が計画設計と実施の主要なパートナーとして参加できるよう、透明性とアカウンタビリティのためのメカニズムの設置が不可欠です。栄養が主流化され、意図されているインパクトをもたらすために、G8 は「ニュー・アライアンス」において世界保健総会で採択された栄養の世界目標に貢献する世界的な栄養成果目標を設定し、「ニュー・アライアンス」に参加する各ステークホルダーと協力して栄養の国別目標を設定することが必要です。各セクターの役割は本質的に異なることから、G8 は「ニュー・アライアンス」における投資は食料と栄養の安全保障の公的投資の代替ではなく、あくまでも補完であることを認識しなければなりません。

---

<sup>7</sup> The State of Food Insecurity in the World, 2012, FAO. <http://www.fao.org/docrep/016/i3027e/i3027e04.pdf>